

輸送動向について(平成21年度第1 - 四半期)

平成21年7月

1. 輸送概況

第1 - 四半期は、4月から5月にかけて大きな輸送障害もなく安定した輸送状況で推移したものの、6月に東海道線において人身事故等が多発し、高速貨26本が運休した。

荷動きについては、昨年からの世界同時不況の影響により実施された製造業各段階での減産体制が本年度に入っても継続されたことから、前年を大きく下回って推移した。

コンテナ貨物は、需要の低迷により生産調整が継続した自動車部品、紙・パルプ、化学工業品、化学薬品などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比83.7%となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比88.4%となった。石油については、揮発油が前年の暫定税率の廃止等の影響により一時的に需要が大きく変動したほか、重油及び軽油が生産活動の低迷の影響を受け大きく減送となった。セメント・石灰石は、工場の減産等により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,792	5,726	83.7%
車扱	2,281	2,582	88.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	387	448	-61	86.4%
	化学工業品	456	554	-98	82.3%
	化学薬品	339	414	-75	81.9%
	食料工業品	828	863	-35	95.9%
	紙・パルプ	748	964	-216	77.6%
	他工業品	345	451	-106	76.5%
	積合せ貨物	561	620	-59	90.5%
	自動車部品	138	218	-80	63.3%
	家電・情報機器	94	102	-8	92.2%
	工コ関連物資	82	93	-11	88.2%
	その他	815	1,000	-185	81.5%
コンテナ計	4,792	5,726	-934	83.7%	
車扱	石油	1,497	1,704	-207	87.9%
	セメント・石灰石	264	325	-61	81.3%
	車両	231	261	-30	88.7%
	その他	291	292	-1	99.4%
	車扱計	2,281	2,582	-301	88.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)